

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス 北風と太陽 刈谷（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 4日		～ 2026年 2月 4日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○従業者評価実施期間	2026年 1月 4日		～ 2026年 2月 4日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 21日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者の方と信頼関係を築き、できるだけ柔軟に送迎時間や場所などの対応を行っている。	普段の送迎時や定期的な家庭訪問の実施を行い、保護者の方とコミュニケーションをとり、保護者の方の困った時など相談しやすい関係を築くように努力している。	長く利用している児童も多いため、今までの関係性が壊れないよう、今後も信頼していただけるよう行動・コミュニケーションをとっていく。 職員で偏りが出ないように、全職員が日頃から関係性の構築を意識し、相談してもらえぬ関係性を築いて行く。
2	小学校低学年から長く通所している児童が多くいる。 また新規利用児童も低学年からの利用を開始することで、きょうだいのいない児童の兄や姉、弟や妹のような存在として、関わりを持っている。	日々のレクリエーションの中でペアを組む活動をあえて準備し、児童同士の相性も考えながら、年上児と年下児のペアになるように意識している。	今後も継続してペアになる活動を準備し、年上児と年下児の関わりを増やしたり、お出かけの際の移動の車内でも関わりを増やしていけるよう意識する。
3	児童の活動の様子を、レクやレク以外の写真をたくさん撮り、毎月の月初めに保護者の方にLINEでアルバム送信し、日々の送迎時の様子の伝達以外にも、日々どう過ごしているか等、事業所の様子をお伝えしている。	日々のレクリエーションや、自由時間など沢山の写真を撮ることを職員で意識し、少しでも成長を感じ取ってもらえるよう意識している。 写真だけでなく、動画も送ることで、より様子が伝わりやすくなるようにしている。	レク実施時にレクの担当だけでなく、その他の担当も振り分け、写真の撮りそびれがないよう意識している。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所が一軒家ということもあり、ダイナミックに遊ぶことや運動療育を積極的に行うことが難しい。 またバリアフリー化も難しいため、受け入れの幅が狭まっている。	勉強部屋や遊び・運動部屋など利用している児童の人数やニーズに合わせて分けて過ごすことが難しい。 賃貸のため、リフォームが難しい。	市内の福祉会館が借りられる時は借りるよう手配をし、広い場所でのレクリエーションや運動療育などを行っている。
2	レクリエーション内容が曜日により固定されてしまっている曜日がある。	学校のお迎えが市内以外にもあり、中高生の利用も多くあるため、早い下校時間に合わせた公園遊びが主になってしまっている。	今後は曜日によって偏りが出ないように日々のレクリエーション内容を職員間で話し合いを行ったり、InstagramなどSNSを活用し、さまざまなレクリエーションを取り入れている。
3	学校や他関係機関との情報の共有が薄いため、支援内容や課題に偏りが出ている。	お迎え時のみのやり取りになってしまうため、学校と十分にコミュニケーションを取ることが難しい。 また、学校と事業所ではコアタイムがずれているため、時間を合わせることも難しい。 他連携機関とも中々連絡を取る機会が少なく、相手からのアクション待ちになっている。	送迎時間に余裕をもって組むことを意識し、学校の先生方とコミュニケーションを取るように意識する。 他連携機関との連携も意識して行えるよう併用先の事業所などに積極的に連絡を取り合っていけるよう改善していく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 北風と太陽 刈谷 (児童発達支援)

公表日 2026年 2月 21日

利用児童数

4

回収数

4(100%)

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	2	2			
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	2		2		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	3	1			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	3		1		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	4				
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	4				
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	4				
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	4				
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	4				
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	4				
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	1			3	
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	4				
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	4				
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4				
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	4				
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	3	1			
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	4				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3			1	
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	4				

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	4					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	4					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	4					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	4					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	3		1			
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	4					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	4					
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	4					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	3	1				
	29	事業所の支援に満足していますか。	4					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		北風と太陽 刈谷 (児童発達支援)		公表日		2026年 2月 21日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2	5			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	5			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	1			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7				
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7				
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7				
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7				
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7				
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7				

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	2		
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	7			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5	2		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7			
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7				
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7			

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	1		
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	4		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7			
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	2		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	2		

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス 北風と太陽 刈谷 (放課後等デイサービス)		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 4日		2026年 2月 4日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25	(回答者数) 23
○従業者評価実施期間	2026年 1月 4日		2026年 2月 4日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 21日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者の方と信頼関係を築き、できるだけ柔軟に送迎時間や場所などの対応を行っている。	普段の送迎時や定期的な家庭訪問の実施を行い、保護者の方とコミュニケーションをとり、保護者の方の困った時など相談しやすい関係を築くように努力している。	長く利用している児童も多いため、今までの関係性が壊れないよう、今後も信頼していただけるよう行動・コミュニケーションをとっていく。 職員で偏りが出ないように、全職員が日頃から関係性の構築を意識し、相談してもらえぬ関係を築いて行く。
2	小学校低学年から長く通所している児童が多くいる。 また新規利用児童も低学年からの利用を開始することで、きょうだいのいない児童の兄や姉、弟や妹のような存在として、関わりを持っている。	日々のレクリエーションの中でペアを組む活動をあえて準備し、児童同士の相性も考えながら、年上児と年下児のペアになるように意識している。	今後も継続してペアになる活動を準備し、年上児と年下児の関わりを増やしたり、お出かけの際の移動の車内でも関わりを増やしていけるよう意識する。
3	児童の活動の様子を、レクやレク以外の写真をたくさん撮り、毎月の月初めに保護者の方にLINEでアルバム送信し、日々の送迎時の様子の伝達以外にも、日々どう過ごしているか等、事業所の様子をお伝えしている。	日々のレクレーションや、自由時間など沢山の写真を撮ることを職員で意識し、少しでも成長を感じ取ってもらえるよう意識している。 写真だけでなく、動画も送ることで、より様子が伝わりやすくなるようにしている。	レク実施時にレクの担当だけでなく、その他の担当も振り分け、写真の撮りそびれがないよう意識している。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所が一軒家ということもあり、ダイナミックに遊ぶことや運動療育を積極的に行うことが難しい。 またバリアフリー化も難しいため、受け入れの幅が狭まっている。	勉強部屋や遊び・運動部屋など利用している児童の人数やニーズに合わせて分けて過ごすことが難しい。 賃貸のため、リフォームが難しい。	市内の福祉会館が借りられる時は借りるよう手配をし、広い場所でのレクリエーションや運動療育などを行っている。
2	レクリエーション内容が曜日により固定されてしまっている曜日がある。	学校のお迎えが市内以外にもあり、中高生の利用も多くあるため、早い下校時間に合わせた公園遊びが主になってしまっている。	今後は曜日によって偏りが出ないように日々のレクリエーション内容を職員間で話し合いを行ったり、InstagramなどSNSを活用し、さまざまなレクリエーションを取り入れている。
3	学校や他関係機関との情報の共有が薄いため、支援内容や課題に偏りが出ている。	お迎え時のみのやり取りになってしまうため、学校と十分にコミュニケーションを取ることが難しい。 また、学校と事業所ではコアタイムがずれているため、時間を合わせることも難しい。 他連携機関とも中々連絡を取る機会が少なく、相手からのアクション待ちになっている。	送迎時間に余裕をもって組むことを意識し、学校の先生方とコミュニケーションを取ることが意識する。 他連携機関との連携も意識して行えるよう併用先の事業所などに積極的に連絡を取り合っていけるよう改善していく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		北風と太陽 刈谷（放課後等デイサービス）				公表日	2026年 2月 21日		
						利用児童数	23	回収数	23(100%)
		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応	
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない			
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	16	5	1	1	・部屋自体が狭いと話を聞いている。 ・一軒家で2階もあり、玄関も使いやすく、掲示物もきれいで心地よく過ごせていると感じる。職員が温かく見守って頂いているのがよくわかり、大変感謝している。	・一軒家のため、部屋自体を広くすることは難しいですが、活動目的に合わせて、2階の部屋を使うなどして広く使えるように工夫していく。 ・これからも心地よく過ごせるよう精進してまいります。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	19	1		3			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	18	2	2	1	子どもが目で見えてわかりやすくできていると感じる。	・これからわかりやすい環境を整えてまいります。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	20	2		1			
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	22	1			・送迎時、しっかりと子どもの様子を伝えてくれ、支援されていて安心している。	・送迎時の児童の様子をお伝えすることで、よりよい支援に繋がってまいります。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	22			1			
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	21	2					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等サービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	22	1					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	23						
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	20	3			・公園の日が固定化されている気がする。 ・様々なプログラムがあり、いつも楽しく過ごせている。	・早い時間に事業所に揃う日でもありますが、今後プログラムの差がでないように気をつけてまいります。 ・今後も様々なプログラムの準備を行います。	
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	8	2	2	11			
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	22	1					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	22		1				
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	19	2		2			
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	21	2					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	21	1	1		・今後の進路について手厚く助言していただきありがたいと思います。	・今後も保護者様の悩みや心配に寄り添えるよう精進します。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	22	1					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	13	3	1	6	・家族参加のBBQや夏休みのキャンプが あり楽しい企画と感じる。きょうだい のきょうだいとしての在り方を学ぶ機会 があるといいと感じる。	・夏休みのイベントなど、これからも 家族で気軽に来れる企画の準備をして まいります。	
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	21	1		1				

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	22	1			
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	23				・アルバムが良くできていると感じる。 ・利用児童との関係構築を行うことで、より良い児童の様子を保護者様へお伝えできるようにします。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	23				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	18	1		4	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	16	2		5	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	21	1		1	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	20	3			
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	23				・長く通所させていただいてとても安心している。 ・長くご利用いただきありがとうございます。これからも安心して通っていただけるよう邁進してまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	23				・通所する時のプログラムを把握しいつも楽しみにしている。 ・これからも楽しんで通っていただけるよう邁進してまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	22	1			・とても満足している。 ・これからも満足いただける支援を提供できるよう精進します。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		北風と太陽 刈谷(放課後等デイサービス)		公表日		2026年 2月 21日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	1	6	・勉強部屋、遊び部屋など目的に応じて部屋を分けて使用できるようにしている。	・一軒家の為、人数に対してのスペースは狭く感じる。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	1	6		・一軒家のため、すべてのバリアフリー化は難しい。 ・玄関の幅が狭く車いすを室内へ持ち込むことは難しい。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	1	・室内は清潔を心がけるようにしたり、月に1度、午前中の時間を使い、事業所内の清掃を行っている。	・建物自体が古い印象がある。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7				
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7				
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7				

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	2		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	2		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	1		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	1		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7			
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7			

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	1		
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	5		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	2		該当児童がない。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	2		・該当児童がない。